

## 「こまったプレゼント」

昨日、3年生では11月に引き続き、体育館で学年全体での道徳を実施した。今回の題材が「こまったプレゼント」。タブレットを活用し、アンケートや意見をその場で集約しながら授業を進めていく。まず、この本題に入る前に、「今までに友達の親切心からくる言動で、嫌な気持ちになったことがあるか」というアンケートをとってみた。その結果、「ある」が47%、「ない」が53%で、ほぼ半数の人がそんな思いをしたことがあると答えている。

そこで、今回の題材が動画のドラマとして映し出される。「コジマ君が念願だった理想のケーキ店をオープンすることになった。ケーキ店らしく可愛らしく飾られた店内。そのオープン直前に、親友のスズキ君が来店する。そして、開店記念にと大きな『天狗のお面』を持って来る。『これを飾ると店が繁盛する』、そんな気持ちから持ってきたようだ。でも店の雰囲気にはどう見ても合わない。飾るべきか、飾らないべきか、迷うコジマ君」。この段階で「飾る」としたのは21%。友達の気持ちを大切にしたいという意見。一方、「飾らない」とした人は79%いた。

ドラマには続きがある。「迷っているコジマ君に、再びスズキ君が現れる。その時のスズキ君の話や様子から、このお面は手作りで、しかもこれを作るために指をけがしていたということが分かった」。生徒の受け止め方にも変化がみられる。「飾らない」は35%に減少し、「その他」の意見が39%出てくる。ここで、クラスを超えて班ごとに話し合った。その意見をいくつか紹介してみよう。

- ・ 厨房など客に見えないところに飾って、気持ちだけ受け取る。
- ・ 家で大切に保管する。スズキ君に正直に相談してみる。
- ・ 可愛くデコレーションする。ピンクに塗り直す。
- ・ 作り方を教わって、一緒に小さい物を作る。記念日だけ飾る。

相手のことも大切にすると、自分のことも大切にしたい。友達との付き合い方について、自分の考えをまとめさせ、授業を終えた。3年生は長年、友達だった人と一緒の学校で学ぶのは、あと4か月。その期間を大切にしたいと願う。

12月8日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 数字を各位に分解して、二乗します。これを繰り返します。たとえば最初が「3」のとき  $3 \rightarrow 9 \rightarrow 81 \rightarrow 65 \rightarrow 61 \rightarrow 37 \rightarrow \dots$  となります。それでは、最初を「5」としたとき、この作業を50回行った時、いくつになりますか。